

## ■ 開会式（9：20～）

- 1 開会の言葉
- 2 優勝旗返還（男：伊敷中 女：城西中）
- 3 競技委員長あいさつ
- 4 競技上並びに審判上の注意
- 5 選手宣誓（坂元中学校）
- 6 閉会の言葉

## 閉会式（試合終了後）

- 1 開会の言葉
- 2 成績発表並びに表彰
- 3 競技委員長あいさつ
- 4 閉会の言葉

## 競技上の注意

- 1 今大会は、2019年度の日本バドミントン協会競技規則に準じて行う。  
（サービス高115cmへの対応として、支柱ヘテープで印、ダブルスのみ準決勝からリボンをつけさせる）
- 2 タイムテーブルにしたがって進行するが、時間やコートの変更もあり得る。5分以内にコートに入らない場合は失格とすることもある。
- 3 審判は敗者審判とする。第一回目は割り当てをする。試合に負けた人（組）は、勝者サインの書いてある審判用紙を審判から受け取り、本部まで持っていく。
- 4 審判は、主審・線審ともに誠実なジャッジを心がけること。主審はオーバーコールが可能である。線審のジャッジの間違いを変更できる。また、負けた本人が審判をせず下級生が代わってするようなことがないように。
- 5 試合方法について  
団体戦は、ダブルス・シングルス・ダブルスの順で行う。初回戦は3番手まで試合をするが、次回からは2点先取とする。
- 6 団体戦・個人戦ともに21点1ゲームとする。（延長は30点まで）  
一方のサイドのスコアが11点になったときにチェンジエンド、60秒を超えないインターバルを認める。  
（同時に2人までコートサイドでアドバイスをを行なって良い。20秒前にはコートを離れること。）
- 7 個人戦共通の部は準決・決勝を正式ゲーム、ひとつ前の準々決勝を30点1ゲームとする。また、シード権参考のための3位決定戦（2人とも3位、正式ゲーム）を行う。
- 8 ゼッケンをつけること。県大会要項に記載されている、30cm × 15cm（下限については良識の範囲内）を範囲とする。学校名だけ（他人のものを借りて、折り曲げて使用しないこと）にならないように。
- 9 大会使用ウェアは、日本バドミントン協会審査合格品とする。  
シャツは必ずパンツの中に入れること。ソックスはくるぶしの隠れるものを使用すること。インナー等は見えないように。
- 10 審判に質問できるのは、団体戦ではプレーヤーまたは監督、個人戦ではプレーヤーのみである。
- 11 ベンチに座れる人の確認  
監督1名、マネージャー（生徒）またはコーチ1名、エントリーされた選手  
服装は、中学生大会にふさわしい服装・体育館シューズでお願いします。
- 12 水分補給については、スクイズボトル（吸い口のついたものは可）のみ認める。  
◎かごに持ち込めるもの（今大会は、かごがないので審判の近くと考えて良い。主審に許可をもらいながら使用して良い。）  
・ラケット ・シャトル ・スクイズボトル ・タオル ・滑り止め  
◎ベンチに持ち込めるもの  
・ひょうのう ・濡れタオル ・スプレー ・うちわ（叩いての応援は禁止） ・クーラーボックス（椅子の下に入るサイズ）  
◎ベンチにも持ち込めないもの  
・モバイル機器 ・大きなクーラーボックス

※ 今大会球には、YONEX バドミントンシャトルを使用しています。